



大町の町並みを眼下に朝焼けに輝く北アルプス（4月22日）

# 残雪に朝日墨絵の連峰

春やま  
眺望

4

「なに、これ！ スゴイ！」。展望台で見つけた。パンフレットは、初めて訪れた少女の言葉を冒頭で紹介していた。西に雄大に広がる北アルプス、東に美ヶ原や戸隠連山も展望できる鷹狩山（大町市、1167㍎）は絶景ポイントだ。

麓の大町山岳博物館から1時間半ほどのトレッキングコースもあるが、山頂近くまで車で行くことができる。4月22日、山頂の展望台に上がった。午前5時過ぎ、少し暗く見える空気の層が平野部の上

## 鷹狩山（大町市）

で带状に延び、北アルプスの残雪が朝日を浴びて赤みを帯びて輝いていく。東へ振り返ると、幾重ものシルエットになった山々が縦に深く連なり、水墨画のような趣を見せる。「春はあけぼの」で始まる枕草子の一節を思い出した。

山頂近くの駐車場は、県外ナンバーの車やバイクが並び、東京都国分寺市の佐藤秀樹さん（61）は「田に水が入った後は、平地も輝いていき

れいです」と話した。

展望台の下にある公園には「恋人の聖地」と書かれたプレートとハート形のモニュメント。近くで熟年夫婦が「自撮り」をしていた。公園は市民有志が整備し、周辺には草花を楽しめる遊歩道も作られた。有志代表の野村透さん（78）は「鷹狩山からの景色は心をきれいにしてくれる」。標高は低くても「記憶」に残る山だ。

（文と写真・北條豊）

メモ 山頂近くの駐車場まで長野道安曇野インターチェンジ（IC）から約50分、上信越道長野ICから約70分。山頂付近にレストランもある。

大町山岳博物館からは山頂まで徒歩で往復2時間半ほど。松本藩に献上するために鷹の幼鳥を捕獲したことが山名の由来とされる。